

# 三条別院のご案内

真宗大谷派三条別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

## 三条別院に想う

▲今回は、三条別院のおめさじや行事にたびたびお参りにきていただいている坂井さんより執筆していただきました。

僕が初めて三条別院に行ったのは、令和元年の六月です。僕は、趣味でバンド活動や詩・俳句を書いていきます。文学や宗教に興味があり、三条別院のホームページに高校時代の後輩が、職員として紹介されていた事が、行き始めたきっかけです。いざ友人とお参りに行ってみると、少し前にその後輩は退職しており、会うことは出来ませんでした。だが、その際、僧侶の方が、親切にお寺の中を案内して下さい、事務所で勤行本を購入することが出来て嬉しかったのを覚えています。

それから、時々、晨朝や定例法話・声明教室に参加するようになりました。祖母や母・バンドメンバーと一緒に法話に参加したり、僧侶の方やご門徒さんとも知り合いになることが出来ました。家族や友人と法話の内容を共有したり、わからない事を自分なりに調べたり、考えるようになりました。三条別院は、僧侶の方や参拝者の方と一緒に地域の方々が作ったお料理を食べる事が出来たり、難しいイメージの仏教を気軽に質問でき、居心地がよく安心できます。緊張感もあり、僕にとって大切な場所です。だからまた、三条別

院に行こうと思うんだと思います。三条別院に行くと、僧侶の方の言葉を生で直接聞くことが出来ます。同じ言葉でも、本や動画で聞くより、直接、僧侶の方を目の前にして聞くとでは、言葉の重みが、全然、違います。もっと聞法したいという思いが出てきます。

法話を聞く中で、印象に残っているのは、「仏教は願いを叶えたり、死んだら良い所へ行くものではない、そうであって欲しいと思う自分の姿を問うものだ」と言う言葉です。僕はいつも、こうでないといけないと、色々な事を決めつけて、思い通りにならないと、すぐ、淋しくなってしまう。そう言う自分を知らされていくと、思い通りになる事だけが、良いことなのか、本当に、そうじゃないと、いけないのか、正しさってなんなんだ、答えは、一つじゃないんじゃないか、と、考えるようになりました。僕は学生の時、色々な音楽に出会って音楽の形は一つじゃないんだと思つたことからバンドを始めました。色んな形がある、真実は一つじゃない、そう言う所で、仏教は、音楽と凄く通じるものが、あるんじゃないかと思えます。

これからも、三条別院で、法話を聞いたり、色々な行事に参加したいと思えます。それでも自分の事として仏教を聞いていくのは難しいかも知れません。でも、だからこそ、聞法を続けて行きた

いと思えます。僕は、三条別院と出遇えて本当に良かったです。

坂井 成氏

新潟市在住。バンド Super Pork Frank で活動中。好きな熟語は「絆創膏・仏蘭西」。



【バンド「Super Pork Frank」で演奏する坂井氏と詩集「週末の匂い」】

○次回の「三条別院に想う」は、

松本 昭則氏 (佐渡組本龍寺)

より「執筆いただきます」。

## 定例法話会のご案内

毎月十三日の闍如上人のご命日にあわせて定例法話会を開催しております。

◆十月から十二月の講師

中山善雄氏

(第十四組寶國寺、元教学研究研究所研究員)



◆日時 十月十三日(金)

十一月十三日(月)

十二月十二日(水)

いずれも午後一時三十分～午後一時三十分

◆会場 三条別院旧御堂

◆講題 「女人成仏と変成男子」

▲「たとい我、仏を得んに、十方無量不可思議の諸仏世界に、それ女人あつて、我が名字を聞きて、歡喜信樂し、菩提心を發して、女身を厭惡せん。壽終わりての後、また女像とならば、正覺を取らじ。」(『仏說無量壽經』卷上、『真宗聖典』二一頁)。阿彌陀如来は仏と成るために四八の願いを誓われた。これを本願と呼びます。そのうち三五番目の願いが右にある文章です。この願文は「女性差別」ではないのかと言われ

長年問題視されてきました。なぜ三五願が誓われなければならないのか。そのころは何か。教学研究研究所研究員であった中山善雄氏に、全三回でお話いただきます。

### お取り越し参拝×市内産業観光ツアー

昨年より三条市と協力してお取り越し報恩講参拝を中心とした市内観光ツアーを計画しています。お取り越し報恩講に参詣して、世界に展開する三条市の産業を知って頂くことを目的としたツアーで、一日目は三条市の学芸員がバスに同乗していただき、解説していただきます。

◆期 間 十一月六日から七日

◆参加定員 四十名(二十名に満たない場合中止)

◆参加費 三万三千元(一泊二日食事四食つき)

◆締切 十月二十日(金)

◆高田別院から発着となりますが、三条別院集合・解散も可能です。参加費は同額となります。

◆詳しくは案内チラシをご参照ください。

◆主な日程

【一日目(お取り越し参拝)】

高田別院発(九時半)

三条別院着(お斎・御取越御膳)(十一時半)

絵解き法話・井野優介氏(十二時)

中速夜法要参拝(十四時)

御伝鈔(下巻)参拝(十五時)

夕食 松木屋(十七時五十分)

シアターサンジョーゴボー「よだかの星」観覧

(十九時三十分)

希望者は銭湯へ(二十時三十分)

越前屋ホテルに宿泊

【二日目(市内産業観光)】

越前屋ホテルで朝食

希望者は晨朝参拝 法話・朝倉安都子氏(七時)

三条市内の産業観光を「ブラタモリ」燕三条編に

出演した学芸員が案内

三条市立図書館まちやま(隈研吉設計)等(九時)

スノーピーク・フィールド・スイート・スバ

(入浴・昼食)(十一時十分)

マルナオ・諏訪田製作所(十三時二十五分)

三条別院着(十五時)

高田別院着(十七時)





## おみがき奉仕団のご案内

本年もお取り越し報恩講に向けて仏具のおみがき奉仕団を開催します。お取り越し報恩講に向けて大切なお荘厳の準備となりますので、ぜひご参加ください。

◆日時

第一回 十月 二日(月)

第二回 十月十一日(水)

第三回 十月十八日(水)

いずれも午前九時から十二時

◆場所 教区同朋会館、三条別院本堂

◆内容 仏具のおみがき ◆参加費 無料

◆持ち物 念珠、勤行本、同朋手帳

◆申込方法 各開催日の3日前までに電話、またはメールにて三条別院(担当:松浦)までお申し込みください。

◆その他 昼食は三条別院が用意します。なお、お取り越しのスタッフ弁当の試食会を兼ねますのでふるってご参加ください。



みんなで、  
みがこう！  
試食もあるよ！



## 宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に「御命日のつどい」を本堂にて、日中法要と法話、その後座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

◆日時 十月二十八日(土) 午前十時より  
◆会場 三条別院 本堂  
◆お勤め(御命日 日中法要)  
文類偈 行四句目下  
念仏讃 淘五  
和讃 回口 次第六首  
回 向 願以此功德

◆日時 十月二十八日(土) 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 淘五

和讃 回口 次第六首

回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

八田裕治氏・八田摩矢子氏(第十七組 淨福寺)

(一帖目第十通 「当山多屋内方」)

▲「御文」一帖目をテーマにしております。

▲十時半から十一時半まで法話。その後座談会を設けております。講師を囲んで語り合います。

◆今後の講師一覧

十一月 田村 大輔氏(第二十組 専念寺)

十二月 橘 出氏(第十八組 久唱寺)

## 【募集中】御正忌団体参拝のご案内

本山御正忌報恩講団体参拝のご案内です。大型バスにて新潟駅を出発して、上越経由で北陸道を通って京都に向かいますので、ご希望の乗降インターがあればご相談ください。

◆期 日 十一月二十七日から二十九日

(二泊三日)

◆参加費 六八,〇〇〇円

◆申込締切 十一月十七日(金)



【上から坂東曲、比叡山、雄山荘】

▲二十八日の結願日中に参拝します。一泊目は京都市内、二泊目はおごと温泉(雄山荘) 宿泊です。二日目の午後は京都嵐山観光。その他、西本願寺・比叡山にも参拝予定です！ 別院職員(担当:小原)が詳しくご案内します。詳しくは案内チラシをご覧ください。

フードバンクを継続中

―八月の別院でのフードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒―

第二十組 誓慶寺、第二十三組 善照寺、佐渡組 專得寺

その他、匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は十月二十四日(火)です。

その他の講座案内

○別院声明教室

昼の部 (午後三時～五時)

講師 別院列座

夜の部 (午後六時～八時)

講師 橋 宗真氏 (第二十組頭了寺)

開催日 八月二十一日 (月) (済)

九月十一日 (月) (済)・十月十日 (火)

十一月十四日 (火)・十二月十一日 (月) (全五回)



○別院書道教室 (東友会)

「毎月第二、第四水曜日、午後六時三十分～八時」

講師 木原 光威氏 (新潟県書道協会理事)

月謝 三,二〇〇円 (テキスト代含む)



【東友会から作品展に参加】

随時募集中

○有志の会座講「毎月十三日」

一緒に別院のお庭を整備していきませんか?

毎月十三日十時から、午後は定例法話を聴聞します。

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊 (絵像) をお迎えして、聞法会を開催しませんか?

○別院奉仕研修について

【奉仕研修参加金】

一人あたり半日 (午前または午後 五百円、一日千円)

一泊二日は上記の参加金に順じて半日五百円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研修参加金に含まれる。②シーツ等クリーニング代千円

③食事代 (ご要望等)ございましたらご相談承ります。

○団体参拝及び諸般拝観について

七月に新教区となり、高田エリアのご寺院から団体参拝も増えてきました。三条別院では団体参拝を常時お受けしています。列座がご案内いたします。日程等、お気軽にご相談ください。

なお、お取り越し報恩講に団体参拝される場合は、お斎 (御取越御膳) の有無、参拝人数、バスの種類と発着時間 (5日、6日は留置不可)、引率責任者の氏名、住所、携帯電話番号、法要出仕の有無を必ず事前にお知らせください。



【御取越御膳試食会 (教化部)】

◆編集後記◆

先月の別院秋彼岸会では、富山教区の太田浩史先生にお越しいただき、越後の異安心事件についてお話をいただいた、と思う。「思う」というのは、この編集後記執筆時点でまだ別院の秋彼岸会は始まっていないからである。

我々別院職員と太田先生がいかにして出遇ったのか、そのことについては先月廣河がこの編集後記で詳細に綴っている、詳細は省くが、(まだ読んでいない方がいたら是非読んでいただきたい)今年の五月、中央声明講習会受講のため私と廣河はとなく詰所に宿泊していた。ある日、私が詰所に帰つてくると、廣河が誰かと詰所の広間で談笑していた。「あれ、廣河くん誰と話してんだろ?」と思つていたら詰所のおかみさんに呼ばれ「明日の晨朝法話でお話しされる太田先生が来てるから、あんた挨拶しなさい」と、廣河と全く同じシチュエーションでその席についた。

太田先生のお話は、三条別院創建のきっかけとなった越後の安心事件を、我々が聞いてきたものと全く別の視点から語られているのが非常に斬新に感じられた。この「別の視点」に私も廣河も引き付けられ「この人、絶対に三条に来て話してもらいたい!」と思つたのである。

その時の出遇いから約四ヵ月。ついに別院秋彼岸会で太田先生の話の聞けると思うと今からワクワクである。思えばあの時、太田先生から「あんたたちは声明を学びに来とるんやろ。声明を学ぶもんは教学もしっかり勉強しなさい」とのお言葉を頂いた。その言葉のおかげで、私は無事に中央声明を終えることができたと思つている。その時のご恩に報いるために、我々の職場である三条別院ができた経緯、歴史、異安心事件とは何だったのかをしつかり学び直したいと思う。(小原)